

湿原を題材とした小学校向け資料のとりまとめ方針について  
～『人の手で自然の森をつくる（仮題）』の資料を例に～

学習指導要領の変更に伴い、従来釧路湿原を題材にして環境教育を行っていた「総合学習」の授業時間が減少することから、理科や社会科などの教科学習において釧路湿原を題材にした学習を行うことの可能性について検討を行っている。

前回の第8回環境教育ワーキンググループにおいて、小学校5,6年生の理科、社会科の各単元のうち、事務局が絞り込んだ「単元」に対応する「とりまとめたい内容」について、『内容の詳細』と『とりまとめの方法』についてアイデア出しを行った。各委員には、いずれかの単元（アイデア）を担当いただき、情報の収集、とりまとめ素案の作成に参加いただいた。

提出された素案を基に、児童用資料および教員用資料のとりまとめ案を作成した。

1) 素材の種類：資料2-2参照

資料を構成する各素材は、主に以下のものが考えられる。

種類	内容	使い方例
文章による全体概要の説明 素材例①	教科書を参考に、紹介する活動の概要を児童が理解できる内容、文章量で記載。	写真やイラスト資料と組み合わせて配布用として。
写真 素材例②	紹介する活動のイメージをかきたてるもの。	テキスト資料と組み合わせて児童配布用として。スクリーンやTVでの映写、大きなサイズで印刷して児童全員に提示する等の資料として。
イラスト 素材例③	写真や文章による紹介では理解しづらいものを、簡略化して紹介できるもの。	スクリーンやTVで映写する資料として。
映像	紹介する活動のイメージをかきたてるもの。	

2) 児童用資料：資料2-3参照

教科書単元の導入時に使える資料として、または、発展学習に使える資料として、各素材を組み合わせ、児童用資料としてとりまとめる。各学校の実状に応じて教員により選択して使ってもらえるように、以下の区分でとりまとめるかどうか。

資料の種類	内容	取り扱う際に必要な時間や教員の手間
基本資料 児童用資料例①	短い時間でも使いやすいA4程度にまとめられた児童配布用プリント資料	小
補足資料 児童用資料例②	紹介する活動をより詳しく紹介する資料。扱う時間が取れる場合に使用いただく。 ※教員用補足資料としても作成	中

使い方例) 基本資料をプリントアウトして児童に配布し地域で行われている事例として紹介。  
基本資料を使って児童に紹介した後、補足資料を使って詳しく内容を学習。

### 3) 教員用資料：資料2－4参照

教員用資料として、以下のものが考えられる。

種類	内容
資料の一覧 教員用資料例①	資料ごとに、児童用資料、教員用資料として取りまとめた資料の種類、各資料の概要、使い方例などを記載。
教員用資料 教員用資料例②	児童の学習範囲を超える情報について、補足する資料。教科書との関連性を検討する際や、児童への説明、児童からの質問等への対応に活用。

### 4) 学校への資料提供の方法について

児童用資料、教師用資料ともに、印刷物とデータによる提供が考えられ、情報提供の形としては、以下のものが考えられる。

資料の形態	内容	考えられる提供方法	備考
印刷物	教員用サンプルとして全資料1部を印刷	各学校への郵送等	児童用配布資料の増刷は教員が行う前提
データ	各資料のPDFデータ	・CDで各学校へ郵送等	活用の促進を第1に考えれば、印刷物と共にCDデータの郵送が最も良いと考えられるが、コストや情報更新の視点で課題がある
	児童用資料をパワーポイントファイルとしてとりまとめたデータ	・WEBサイトからダウンロード	
	写真やイラスト等の素材データ(JPEG等)	・問い合わせに応じて提供	

### 5) 学校への周知の方法について

資料の存在を学校へ周知し、活用を促進するための方策として、学校へのチラシ等の配布・郵送、教育委員会との連携、教員が集まる機会での案内等が考えられる。また、効果的にPRを行うためには、多様な主体から協力を得る必要がある。

周知の方法・PR媒体	具体案(多様な主体の協力を前提とした案)
チラシ等の配布・郵送	これまで収集した事例実践校へのチラシ郵送、釧路湿原周辺施設での設置等
教育委員会との連携	チラシ等の棚入れ、メール、校長会・教頭会等における案内
教員が集まる機会に案内(チラシ配布等)	教員研修講座、教員のグループ・研究会
WEBサイトへの掲載	自然再生協議会関係主体が運営するサイトやメーリングリスト等
メールでの周知	
マスメディア	新聞、地域FM、広報誌等の紙面媒体等